# 引用の仕方(補足参考資料)

リポートや論文を書く際に、「剽窃」とならないようにするには、他の人が書いた著作や 作品を適切に「引用する」ことが必要です。

以下では、『リポートの書き方』の引用の方法をまとめましょう(p.6~p.7)の一部を再掲しておきます。また、それと合わせて、参考文献リストの作成方法も示しておきます。

# く直接引用する方法>

他の人の著作に書かれている文章の一部を、直接そのまま、書きだす引用の仕方。

- (1) 5行程度までは「 」でくくり、本文に組み入れる。引用箇所の最後には( )内に著者名、年度を記す。
- (2)(1)ととともに、リポートや論文の文末に、参考文献リストを作成しておく。

## <間接引用する方法>

他の人の著作に書かれている文章をそのまま書きだすのではなく、翻訳や同じ主旨を自 分の言葉で書く場合でも、内容的に言及している場合は、必ずそのことを記しておかなけ ればなりません。間接引用のケースも、

- (1) 間接引用した直後に、( )内に著者名、年度を記す。
- (2)(1) ととともに、リポートや論文の文末に、参考文献リストを作成しておく。

## <参考文献リストの作成方法>

# ① 和文 [日本語] 参考文献の書き方の例

引用した文献が、本であれば、左から 著者名、(発行年度)、『書名』、出版社

## 雑誌論文であれば、

著者名、(発行年度)、「論文のタイトル」、『論文の掲載雑誌名』、巻、号、最初の 頁-最後の頁

を書き、著者名の50音順で、同じ著者名の文献を複数引用した場合は、発行年順に並べます。

#### ② 欧文〔外国語〕参考文献の書き方の例

基本的には、日本語と同様ですが、雑誌論文であれば、

著者名(名字、名前の頭文字ピリオド),(発行年西暦) "論文タイトル", 掲載雑誌名(斜体), Vol., No., pp. 最初の頁ー最後の頁.

#### 本は、

著者名(名字、名前の頭文字ピリオド)(発行年西暦), 本のタイトル (斜体), 出版社名, 出版都市名

## 以下の参考文献リスト〔欧文〕の例は

新海哲哉、大川隆夫、岡村誠 (2009)、「異なる企業金融タイプをもつ複占市場分析—株主価値最大化企業 vs. 借入価値額最大化企業—」、『経済学論究』、第63巻2号、123-143.

からの転載です。

# 参考文献

Bradley M., G. A. Jarrell and E. H. Kim (1983), "On the Existence of a Optimal Capital Structure: Theory and Evidence," *The Journal of Finance*, vol.39, No.3 pp.857-878.

Brander J. A., and T. R. Lewis (1986), "Oligopoly and Financial Structure: The Limited Liability Effect," *The American Economic Review*, Vol.76, No.5,pp. 956-970.

Etro, F. (2007), Competition, Innovation, and Antitrust, Springer Berlin Heidelberg New York

Heinkel, R. (1982), "A Theory of Capital Structure Relevance Under Imperfect Information," *The Journal of Finance*, vol.37, No.5 pp.1141-1150.

Hughes J., J. L. Kao and A. Mukherji (1998), "Oligopoly, Financial Structure, and Resolution of Uncertainty," Journal of Economics & Management Strategy, Vol.7, No.1, pp.67-88.

## ③ インターネットの情報源から引用するケース

普通の出版物による参考文献の後に、

著者名(わかれば、新聞記事等は記されていない場合がある)、(発行年月日)、 「論文または記事タイトル」、雑誌タイトル、URL

例: World Bank. (2008). "Governance and Execution of ICP 2003-2006," *ICP 2003-2006 Handbook*, <a href="http://go.worldbank.org/MW520NNFK0">http://go.worldbank.org/MW520NNFK0</a>.

以上です。

\* ルールを守らず引用すると、「剽窃(ひょうせつ)」、つまりアイデアの無断盗用という ことで、全く評価されないものになります。